※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　工芸科

教科	芸術	科目	工芸Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校工芸Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・素材の特徴を生かし、自分の意図を的確に表現しよう。
・１年次に学んだ技術を生かし、より完成度の高い作品を制作しよう。

２　学習の到達目標

・意図に応じて素材、用具、手順、技法などを理解し、制作計画を確認しながら活動している。
・伝統文化や日常生活など多くの視点から発想し、独自の表現を探っている。
・主体的に用途と美しさの調和を考え、制作や鑑賞に取り組んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから発想や構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	工芸や工芸の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	教科書等を鑑賞し多様な表現について学び、工芸Ⅱの学習イメージを持つ。 レポート記入後、鑑賞内容を発表する。	a:工芸作品への理解を深めている b:工芸作品や文化に対する感じ方を深めている c:工芸の表現に関心を持ち意欲を高めている	レポート・発表内容	レポート・発表内容	鑑賞・発表態度
	サンザ	【ミクストメディア】 ・条件に合ったデザインを考える。 ・共鳴体の型を作り、シュレッダー粘土で成形する。 ・板材等を正確に切り接合する。絵の具を重ね塗りし、やすりで研ぎ色の層を出す。 ・金属などの各パーツを丁寧に制作し組み立てる。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:素材の特性と仕組みを理解し音が響くように制作できる。用具を適切に使用し工夫している。 b:構造と技法を理解し演奏しやすさと美しさを備えた表現ができている。 c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容
	高校展レポート	【鑑賞】 高校展または他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容
2学期	花器	【陶芸】 ・条件に合ったデザインを考え、ひも作りで制作する。 ・用具を工夫してマチエールを施し化粧土を塗る。素焼き後釉薬をつけ本焼きする。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:土の特性を生かし、用具を適切に使用し工夫している。 b:アイデアを生かし、技法を理解して表現できている。形に応じたマチエールが施されている。 c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容

※令和４年度以降入学生用

	3方向やじろべえ	【立体・紙他】 ・条件に合ったデザインを考え試作を重ねる。針金と磁石で支柱を作る。 ・用紙を変えて本制作する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:素材や用具の使用方法と特性を理解し制作ができる。仕組みを理解し制作ができる。 b:試作を重ね工夫している。材料を生かし表現の幅を広げている。 c: 学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容
3学期	メッセージ独楽	【立体・紙他】 ・よく回る独楽の条件を学び試作する。 ・短文で効果的な自分へのメッセージを考える。 ・条件に合ったオリジナルデザインの独楽を試作する。 ・用紙を変えてメッセージを書き込み本制作する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:素材や用具の使用方法と特性を理解し制作ができる。独楽の仕組みを理解し制作ができる。 b:試作を重ね工夫している。材料を生かし表現の幅を広げている。 c:学習内容に関心を持ち、手順や材料の確認をしながら意欲的に取り組んでいる。 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容
	校内展レポート	【鑑賞】 ・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度